

はばたき

大分大学教育学部
附属小学校便り
平成29年10月26日

運動会を終えて

体育部 小野 雄平

今年の運動会は、「磨き上げる団結の輪～伝え合う・支え合う・高め合う～」というテーマのもとで行われました。天候の関係で急遽プログラムを変更して行った運動会でしたが、係活動において臨機応変に動いてくれた5・6年生のお陰で、混乱することなく運動会を進行することができました。高学年のこのきびきびした姿に、保護者や来賓の方からも「係の子の動きが大変素晴らしかった」とお褒めの言葉を頂きました。

今回の「はばたき」では、運動会のテーマに関する2つの姿を紹介したいと思います。

1つ目は、同じ色の中で見られた姿です。運動会の練習が始まって間もなくして、1年生の教室に5年生のTさんが一人で訪ねてきました。Tさんに理由を尋ねてみると、「1年生にタイヤ運びのコツを教えたくて…」と少し照れながら理由を教えてくださいました。そんなTさんは、キラキラそうじでも1年生が困っていると、そっと手を差し伸べてくれる優しい子です。コツを教えてくださいましたのは、Tさんだけではありませんでした。小運動会の団体競技で苦戦していた姿を見た4年生が、中休みに改善点を教えてくださいました。6年生は、「昼休みに一緒に練習をしよう！」と誘って教えてくださいました。その昼休みの練習では、6年生のみならず傍で様子を見ていた4・5年生も途中から加わり1年生に手取り足取り丁寧に教えてくださいました。これは、附属小学校の良い伝統だと思います。(縦割り班で朝そうじをするようになって、異学年の間で交流する姿が更に増えてきています。)

2つ目は、色を超えた中で見られた姿です。それは、4年生の棒引きの中(青対白)で見られました。棒を引き合っている最中に青組のSさんが引きずられて倒れてしまいました。倒れたSさんは、しばらくその場にうずくまっていた。すると、そこに白組のKさんが駆け寄って来ました。そして、Kさんは、うずくまって

いるSさんを起こすと去り際に何か一声をかけて、また近くの集団に合流して棒を引き始めました。それは気を抜いていると見逃してしまいそうなほど、一瞬の出来事でした。

今、紹介した2つの姿の中には、今回の運動会のテーマの中にある「伝え合う・支え合う・高め合う」のすべてが詰まっています。今回、紹介した姿は運動会の取組の中で見られたほんの一部分に過ぎません。このようにテーマが具現化された姿は、きっと他にも沢山あったはずですが、それだけ、素晴らしい運動会だったと思います。

運動会が終わって火曜日の朝、教室前の廊下で表現を踊る1年生たちがいました。その子たちに「運動会が終わってもなぜ踊るの?」と尋ねてみると、「みんなで踊ると楽しいから!」「みんなで踊ると(踊る中で)色々な話ができて楽しいから!」という答えが返ってきました。楽しそうに踊る1年生の周りには、いつの間にか他学年の子どもたちも集まっていました。1年生があまりにも楽しそうに踊るので、その様子を見ていた他学年の何人かがつられて踊りの輪の中に加わっていききました。そんな和やかな様子を傍で眺めていると、その中に学年を超えた「磨き上げられた団結の輪」が浮かび上がってきました。

最後になりましたが、地域の方々や保護者の皆様には運動会の準備から片付けまで様々な面で支えていただきました。本当にありがとうございました。



お知らせ

《11月の主な行事》

- 11月 9日(木) 四校合同防犯訓練
- 11月11日(土) オープンスクール(親子ふれあい活動)
- 11月13日(月) 繰替休業日
- 11月25日(土) 小中連携授業づくりセミナー(1の1,1の3,3の1,4の3,6の3のみ)
- 12月 1日(金) 歌声発表会